

## ネイパル森

# テントに泊まろう

### 1 事業のねらい

テント設営・撤収・テント泊、野外炊事などの体験を通して自然のすばらしさに触れながら、参加者同士の交流を図る。

### 2 事業の概要

- 期日 R7.6.14(土)～15(日) 1泊2日
- 対象 小学4年生～小学6年生
- 人数 51名(58名応募)
- 場所 ネイパル森

### 3 プログラム

	11:00	12:00	14:00	15:00	19:00	21:00	22:00
6/14(土)	受付 開会式	活動1 「テントをたてよう」	昼食	活動2 「原始火起こしに挑戦」	活動3 「夕食をつくろう」	活動4 「キャンプファイヤー」	入浴 自由時間 就寝準備 就寝
	7:10	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	
6/15(日)	起床	身支度	活動5 「朝食をつくろう」	テント撤収 寝袋干し	活動6 「枝笛をつくろう」	ふりかえり 閉会式	解散

### 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 参加者同士の交流を促すプログラムの構成と協力を促す働きかけ
  - ・テント設営、撤収、夕朝食づくりなどの野外体験活動を通じて参加者の交流が活発に図れるプログラム構成とした。
  - ・参加者が協力し合って課題を達成できるように、直接的な指導は極力減らし、班内で相談し合う機会を増やすとともに交流を促す働きかけを重視した。
  - ・参加者同士が協力して一つの目標に向かって行動することの重要性や楽しさを感じられるように、協力性が特に求められる原始火起こしや夕食のまんが肉の調理に取り組むこととした

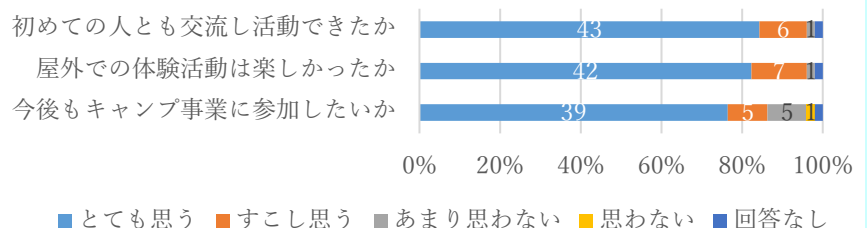


テント設営に挑戦



まんが肉を炭火で調理中

### 5 事業の評価



■参加者アンケートから、「交流」「楽しさ」「キャンプ事業への興味」に関する項目で、88%以上が肯定的な評価をした。

### 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「仲間とテントを立てたり、協力して調理をしたりすることが楽しかった」など、他の参加者と協力して活動することの意義を学んだ旨の感想が多く寄せられ、協力して取り組む活動をきっかけとして交流することの楽しさを感じる機会にすることができた。
- 同一班での活動を重視し、他の班と交流する活動が少なかったため、交流の幅を広げられなかった。同様の事業を行う際には班での活動や交流のあり方を検討する必要がある。



### 企画のポイント

子どもたちが興味を持ち、協力しながら挑戦し、達成感を味わうことのできる、精査された活動と働きかけ